

● EVENTS



組込み総合技術展

Embedded Technology 2008に出展しました

当社は2008年11月19日～21日にパシフィコ横浜にて開催された、世界最大規模の組込みシステム展示会「組込み総合技術展 Embedded Technology 2008」(主催：組込みシステム技術協会)に出展し、ユーザインターフェース、セキュリティ、開発支援などの分野で最新製品を紹介いたしました。

同展示会には毎年出展しておりますが、今回からは研究開発中の技術を紹介するコーナーを設け、カメラでの人の手などの動作を読み込むことで入力を行うバーチャルキーボード「AirSwing(仮称)」を展示、来場者の注目を集めました。

そのほか、セキュリティ関連では無線LANにおける最新のセキュリティ規格であるIEEE802.11iに準拠したWPA2対応SDK「NetNucleus WPA/WPS」、IPSec実装ツールキット「NetNucleus IPSec」などを、開発支援製品としては開発製品の実機をシミュレートするHILS「M-RADSHIPS」や不具合管理ツール「PRISMY」などを展示いたしました。



日本CAとの協業によるID管理システムを紹介

2008年11月7日に日本CA株式会社が開催した年次イベント「ICA Expo 2008 時代をひらく、ITマネジメント戦略」におきまして、当社はパートナービレッジのコーナーへ協賛させていただきました。

情報漏洩時のリスクの高まりや諸制度の改正などを受け、内部統制の確立・強化が企業経営にとって大きな課題となっています。その中で、情報システムにとって極めて重要なのがIDおよびアクセスの管理です。当社では、同社のID管理ソリューションを活用して、ID管理上の悩みとしてつきものの、散在す

るディレクトリサーバの運用や特権ユーザ管理といった問題を解決してまいりました。今回のイベントでは、これまで数多く構築したシステムの中からいくつかの事例を紹介し、コンプライアンスに関する企業のビジネスリスク対策を提案いたしました。



ITpro EXPO 2008 Autumnに出展

ITIL導入の有用性をPR

当社は2008年10月15日～17日、日経BP社が主催するエンタープライズICTの総合イベント「ITpro EXPO 2008 Autumn」に出展し、ITILソリューションの紹介をいたしました。

ITILは、高品質なITサービスを構築・運用するために必要なプロセスを定義した文書で、かつてはその言葉自体が注目されるような存在でしたが、現在では実際のビジネスの場で活用が進むようになりました。

当社では、BMCソフトウェアの「BMC Remedy Action Request System」をプラットフォームとして活用したITILソリューションを手がけております。このプラットフォームの上にITサービスの構成管理データベースを構築し、インシデント管理、変更管理などを行っています。ITILの導入にあたっては、ヘルプデスク業務などにインシデント管理の概念を適用するケース、構成管理データベースを基に変更管理を行うケース、イベント管理やリリース管理を行うケースなど、企業によってさまざまなアプローチが考えられますが、いずれにも対応できる構成となっています。また、小・中規模サービスデスク用としては、当社が独自開発した「TJ Helpdesk」という製品も用意しております。

今回のイベントでは、上記のような具体的なITIL関連製品のみならず、ITILのコンセプトや、導入へ向けて必要となるプロセス、解決すべき課題なども説明することで、質の高いITサービスを持続的に提供するためにITILの導入がいかに有用かをPRし、それぞれのお客様に最適なITILソリューションを提案させていただきました。